
ストロベリー・パニック！－黒服の聖霊－

渡修

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ストロベリー・パニック！―黒服の聖霊―

【Nコード】

N4316H

【作者名】

渡修

【あらすじ】

この作品は、正統派学園百合アニメストロベリー・パニック！を、自分なりに、アレンジした、完全オリジナルファンフィクションです。

プロローグ（前書き）

渚砂

「あ、あのゝ？そのゝ？あ、ありがとうございました。」
落ちる寸前に受け止めてくれた、男の人に、お礼を言う渚砂

プロローグ

ここは、アストエアの丘

男子禁制の三つの名門お嬢様学校が、ある。

そして……100年以上にわたり、このアストエアの丘を見守り続けている、黒服の聖霊が住んでいる。

そして、今日も彼は、影で、少女達を、見守っている。

「今日もいい天気だ!!……」

彼の名は、カイ、このアストエアの丘に100年以上にわたり、見守り続けている、黒服の聖霊である。桜の咲く季節、カイは、何時もの様に、お御堂からの天辺から見ていた。そこへ、今年から、ミアトル女学園の転入生の蒼井渚砂が、元気よく走って来る姿を見つけた。

しかし……彼女は、ミアトル、スピカ、ル・リムのそれぞれの制服に氣をとられて

そのまま、茂みに入ってしまった、坂を勢いよく走ってしまった、湖畔に、転びそうになりました。

驚いたカイは、彼女が落ちる寸前に、彼女の前で、姿を現して、受け止めてしまいました。

啞然とする渚砂

「あれ?全然痛くない?」

呆れるカイ

「全く、何をよそ見をしているんだ、君は!」

突然の声に驚く渚砂

「え?うわあ!!……あ…貴方は、誰ですか?」

彼女が落ちる寸前に、受け止めた、人物は、服も長いコートそして、かぶっている帽子も全身真っ黒な姿をした、男の人でした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4316h/>

ストロベリー・パニック！－黒服の聖霊－

2010年10月9日02時40分発行